



学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性、社会性が豊かな子どもの育成

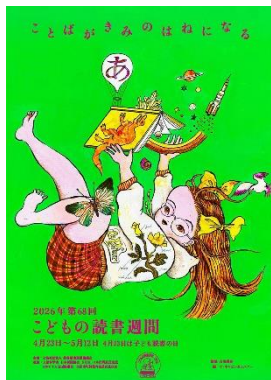
吉田小通信

北九州市立吉田小学校
校長 上満 佳子

吉田小の4つのこだわり

- 自分からあいさつ
- 時間を守る
- 全員でそうじ
- くつばこの整理

令和8年4月23日 発行 NO.2



本好きの子どもに！子ども読書の日の取組



今年度から3か年計画で、「第5次北九州市子ども読書プラン」がスタートしています。子ども達が、どうしたら読書好きになるのか、多くの大人たちが知恵を出し合い、このプランが出来上がっています。4月23日(木)は、子ども読書の日です。本校では、21日火曜日に、読書に親しむ取組を行っていますので、是非お子様に話を聞いてください。子ども読書の日の取組の意義を放送した後、図書委員会さんによる読

み聞かせの動画を視聴し、各学級読書活動を行いました。

1年生は、担任の先生から読み聞かせをしてもらったり、6年生のお兄ちゃんお姉ちゃんから絵本の読み聞かせをしてもらったりしました。6年生の読み方がとても上手なので、お話の世界に浸っていました。6年生は、どんな本を読もうか1年生のことを思って本を選んでいたことが伝わってきました。他の学年も、本の世界を集中して楽しんでいました。読書活動としては、発達段階に応じて、ポップ作りやお気に入りの本の紹介を絵や文で表現していました。

読書の意義として、次のように話しています。本を読んでいると、お話にでてくる登場人物といっしょに、ドキドキしたり、喜んだり、悲しんだり、勇気や希望をもらったりすることができます。本を読むと、自分が行ったことのない場所に行けたり、会ったことのない人と友達になれたりします。それに、本を読むと、人の気持ちがわかるようになります。悲しいとき、うれしいとき、どんなふうを感じるのかを知ることで、友達にもやさしくなれます。また、自分で考える力がつきます。本を読むと、どうしてだろう、自分ならどうするかになって考えるようになります。ですから、本を読むことは、自分の心を大きくしてくれる大切な時間だと思います、と伝えています。

4月23日から5月12日までは「こどもの読書週間」です。「ことばがきみのはねになる」というキャッチコピーのもと、こどもの読書週間になっています。読書の楽しみを感じ笑顔が増えると嬉しいです。

北九州市では、毎月23日を「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」と決めて、読書活動の推進を行っています。この日だけは、テレビ・ビデオを見ずに、また、ゲームをせずに読書をしましょう、という日です。日々の教育活動の中で、子ども達に、読書の楽しさや喜びを伝えていきたいと思っています。本好き

な子どもの育成には、成長に大きな影響力をもっている保護者の方のご協力が、欠かせません。家族と一緒に読む「内読」は、読書を習慣づけることにつながり、お勧めです。ぜひ、実践してみてください。

